

Title	日本型経営とその国際的適応性 - 台湾における日系企業の労働者意識に関する調査研究 -
Sub Title	
Author	李志賢(Ri, Shiken) 石田英夫
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	1985
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	修士学位論文. 1985年度経営学 第446号 複写許諾が必要
Genre	Thesis or Dissertation
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00001985-0446

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

学生氏名 李 志 賢

主査 石 田 英 夫

副査 小 林 規 威

所属ゼミナール 石 田 英 夫 研

小 野 桂之介

日本型経営とその国際的適応性 —台湾における日系企業の労働者意識に関する調査研究—

従来の日本的経営、或は日本型経営に関する研究は、どちらかという、日本固有の文化あるいは、日本がおかれた時代の流れから形成されたものであるという考え方が中心であった。

本研究ではこのような特質をまず論じ、次に外国人である私の目から見た日本的経営問題点を検討し、次に、日本型人的資源管理システムの国際的適応性を論じている。次に本論文は、台湾の企業経営に関する歴史的背景を説明しながら、今日まず、台湾の企業経営管理に対しどのような考え方があったのかを論じている。さらに台湾の現地企業の経営管理特徴を採りあげ、その経営問題と改善方向を検討している。

このような理論的説明を背景にして次に、石田教授の日本型人的資源管理システムをその分析モデルとして、台湾日系企業において、どれ程この日本型人的資源管理システムが適用されているか実証データをもとに検討を加えた。このデータは台湾日系企業6社、322名の台湾人従業員に対するアンケート調査結果により構成されている。結果からいえることは、台湾日系企業6社において、トランスファーされている日本型人的資源管理システムの要素とは「集団主義」「雇用保障」「労働能力向上」「全人格的評価」などの、より抽象的な理念が中心となっている。そしてこの回答結果には各社毎に、又、年齢・性別に差異がある。

この経営トランスファーでひとつ重要な点は、抽象的な理念はトランスファーされているが、それをより現実的に適用する具体的経営システムの展開には、継続的訓練を除いて至っていないという点がある。今後、台湾日系企業が、検討すべき重要なテーマであろう。